

西淀川区子育てまるごと情報 [クー]



西淀川区はクジラの形をしているよ

●発行/NPO法人にしよど にこネット ●協力/西淀川区子ども・子育て支援連絡会

Coo 名物コーナー ちよっと気になるQ&Aリバイバル 特集号

ちよっと
気になる
Q&A

子育てに関する
日々のちょっとした
疑問・質問に
子育て支援室が
お答えしま〜す。

時代は変わっても普遍的な子育ての悩み。かつてCoo4面には「ちよっと気になるQ&A」という名物コーナーがありました。今回はそんなQ&Aコーナーをリバイバル掲載します。文章多めですが、肩の力を抜いて読んでね!



気になることがあると、ついついネット検索しちゃう。その情報とウチの子を比べて、違っているととても心配になってしまいます。(1歳児の母)

A よその子どもと比べて「うちの子大丈夫?」と不安になったりすることってありますよね。今はインターネットやスマホで簡単にいろいろな育児情報が手に入る時代ですが、子どもの成長には個人差があり、育児雑誌やネットの情報通りとは限らないことも多いです。また情報量が多すぎることによって反対に悩んだり、不安になったりすることもありますよね。情報は参考程度にうまく取り入れて、後は先輩の体験談や子育て支援施設などを利用して、相談してみてくださいね。



公園や広場などに遊びに行くと、ものの取り合いや、相手を押ししたりなどのめごとが絶えません。親同士気まずくなったり、その場にいづらくなります。(2歳児の父)

A 2歳頃になると、友達と遊びたい気持ちが高まり、また自己主張も強まる時期なので、一緒に遊んでも長続きしません。とは言え公園などで、いつもおもちゃをとられったり、泣かされたりする姿を見るのは親としてしのびなく、相手の親に「ちゃんと自分の子どもを見て!」と、思いますよね。でも、逆に友だちのおもちゃをとったり、乱暴な行動をしては叱りつけたり、まわりに謝り続けるのも辛いものです。そんな時は、一度みんなから離れたところでじっくり遊ばせてクールダウンするのも一つの方法です。そして落ち着いたらまた「あそぼ〜と、仲間入りしてみましよう。この時期はまだ言葉でのやり取りが不十分です。大人が子どもの気持ちや行動を「イヤやったね、ごめんね」とか、「〜がしたかったんやね」と、言葉に変えて伝えてあげましよう。



子育てに時間が取られ、自分の時間がぜんぜんない! こんなはずじゃなかったのに・・・ (5ヶ月児の母)

A 子育て真っ最中のみなさんにとって、365日休みなく続く育児は体力・気力との勝負で本当に疲れますよね。「一日が育児だけで終わってしまう」とか「社会に取り残されてしまいそう」と、不安になったりすることもあると思います。また「子ども中心で自分の時間が無い」と感じることも少なくないですよね。でもそんな気持ちになることは決してマイナスなことではなく、一生懸命子育てしているからこそストレスを感じるのだと思います。「じゃあ育児のストレスとどう向き合っていけばいいの?」と言う声が聞こえてきそうです。そう、やっぱり“一人で子育てできっこない”。身近に愚痴をこぼしたり、相談できたりする人がいればベストですが、そうでないときは、近くの子育て支援施設に遊びに行きましょう。同じ子育て世代の人たちと出会っておしゃべりしたり、スタッフに相談したりすることで、少しは息抜きやストレス解消につながるのではないのでしょうか。子育ては頑張りすぎず、周りにいる“お助けマン”の力を借りながらポチポチやっていきましょう。



子育てってこんな感じなのね

下の子が生まれたとたん、毎朝「幼稚園に行かない!」と大泣き。下の子で手いっぱいなので、ついイラっときて叱ってしまいます。(3歳児の母)

A 「赤ちゃん返り」といわれる姿は、親から見ると単なるわがままに見えたりするものです。でも上の子にしてみれば、突然の赤ちゃんの存在に、お母さんやお父さんの目が向けられているように見え、ちょっと淋しく不安な気持ちが湧いてくるのではないのでしょうか。その結果として、赤ちゃんと同じようにしてほしい、自分の事を見てほしいという気持ちが強くなるのかもしれないですね。「もうお姉ちゃんになったんやろ」とか「お兄ちゃんのくせに」と、マイナスのイメージで言うのではなく、「お姉ちゃんってすごいね」「さすがお兄ちゃん」とプライドをくすぐるような褒め言葉に替えて伝えてあげましよう。また、抱っこしたり甘えたい気持ちを受け止めてあげることも大切です。お兄ちゃん、お姉ちゃんらしくするには時間がかかるものです。じっくりと見守ってあげたいですね。

